

令和4年度長崎県先端技術導入促進事業 実証採択課題

応募企業	業種	課題の概要
赤木コーセイ(株)	製造	鑄造部品の製造工程が多岐に渡るため、不良要因の特定が困難であることが課題。データの蓄積により不良要因を特定し、品質の平準化を目指す。
アリアケジャパン(株)	食品製造	製造する調味料製品は多種多様であり色調の確認基準が複雑であることが課題。デジタル技術による高精度化に挑戦し、作業効率向上と品質の安定化を目指す。
(株)クリーン・マット	サービス	事業所向けマットは使用状況等で劣化度合いが異なるため、更新時期の判断が難しいことが課題。設置場所や洗浄回数等のデータ化により管理を高度化し、サービス品質の安定化を目指す。
重松工業(株)	製造	制御盤等製造の塗装工程において、検査項目が増大する中、リードタイムの短縮が課題。デジタル技術により検査の効率化と安定化を目指し、生産性向上を図る。
(株)湘南サンライズ工業	製造	超精密金属部品製造において、突発の仕様変更や注文等に対応する製造情報の管理が課題。注文から製造・出荷までの管理をデジタル化し、生産性向上を目指す。
田中鎌工業(有)	製造	刃物製造において、品質を左右する焼入れ窯温度の適切管理が課題。温度管理の自動化により、生産性の向上と後継者への技能伝承機会の確保を図る。
(有)デンタルワークス システム・U	医療	歯科インプラント等の製造において、発注者からの指示書の伝達にFAX等が用いられ、非効率であることが課題。デジタル化により、受注から納品までの全体最適化と顧客の利便性向上に繋げる。
(株)ナカガワ	食品製造	天かす等の製造において、保管場所の制限等による出荷工程の煩雑さが課題。製造から出荷までを一元的にデータ管理・共有することで、出荷業務の効率化を図る。